

■ 教育目的

近年、自分自身の健康に責任を持ち、病気の予防および軽度な身体の不調は自分で手当てする「セルフメディケーション」が推進されている。この講座の中では、その推進には、地域医療における薬局薬剤師の役割が大きく関与していること、セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割、一般用医薬品と薬剤師のかかわり、顧客・患者とのカウンター業務等を学ぶ。本講座は一般用医薬品のみならずサプリメント、保健機能食品に関しても学び、セルフメディケーションを介して地域住民の健康に貢献できる薬剤師になるために、その知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

■ 学習到達目標

1. セルフメディケーションの意義を討論する。(知識・技能・態度)
2. 一般用医薬品と薬剤師の役割を討論する。(知識・技能・態度)
3. 地域医療における薬局薬剤師の役割を討議する。(知識・技能・態度)
4. 患者・顧客とのコミュニケーションの基本を実践する。(知識・技能・態度)
5. サプリメント、保健機能食品に関してその役割を示す。(知識・態度)
6. 一般用医薬品、サプリメント、保健機能食品等の情報収集を実践する。(知識・技能・態度)
7. 患者・顧客主訴から適正な一般用医薬品を選択する。(知識・技能・態度)
8. 患者・顧客主訴から適正なサプリメント、保健機能食品等を選択する。(知識・技能・態度)
9. 健康サポート薬局の役割を討議する。(知識・技能・態度)
10. 地域住民の健康予防・維持に関して薬局薬剤師の役割を討議する。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：5年次の実務実習で習得したセルフメディケーションに関する知識・技能・態度を復習しておく。(30分)

復習：講義中に重要項目として解説・説明された箇所を臨床現場と結び付けて習得しておく。(30分)

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～2	セルフメディケーション概論	セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割についてのSGD等	B (1) -2-5 C18 (1) -1-1 C18 (3) -4-1
3～4	サプリメント、保健機能食品	サプリメント、保健機能食品の役割と選択（演習）	C18 (3) -4-1、3
5～6	トリアージと薬剤師	来局者からの情報収集、受診勧奨、一般用医薬品の選択等（演習）	C15 (2) -1-1、2 C18 (3) -4-1～3 B (1) -3-5
7～8	健康保持と薬剤師	健康日本 21、特定保健指導（演習）	C18 (3) -4-1、3
9～10	地域医療における薬剤師の関わり	地域医療・セルフメディケーションにおける薬剤師の役割	A (3) -5-1、2 B (1) -3-5 C18 (3) -1-1 C18 (3) -4-1
11～12	適正な一般用医薬品の選択 (1)	患者・顧客主訴からの一般用医薬品の選択情報収集・情報提供、患者データからの一般用医薬品の選択	A (3) -1-1、2 A (3) -3-2、4 C18 (3) -4-2
13～14	適正な一般用医薬品の選択 (2)	患者・顧客とのコミュニケーション、患者接遇（演習）	C15 (2) -1-1、2 C15 (2) -2-7 C18 (3) -4-2
15	総合演習	まとめ	

■ 授業分担者

山崎 紀子 (No.5～8、15)、学外講師 (No.9～10)、宮沢 伸介 (No.1～4)、学外講師・下川 健一 (No.11～14)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。

期末試験の成績（100％）で評価する。